

都市再生整備計画 事後評価シート  
板井地区

平成25年3月

群馬県 玉村町

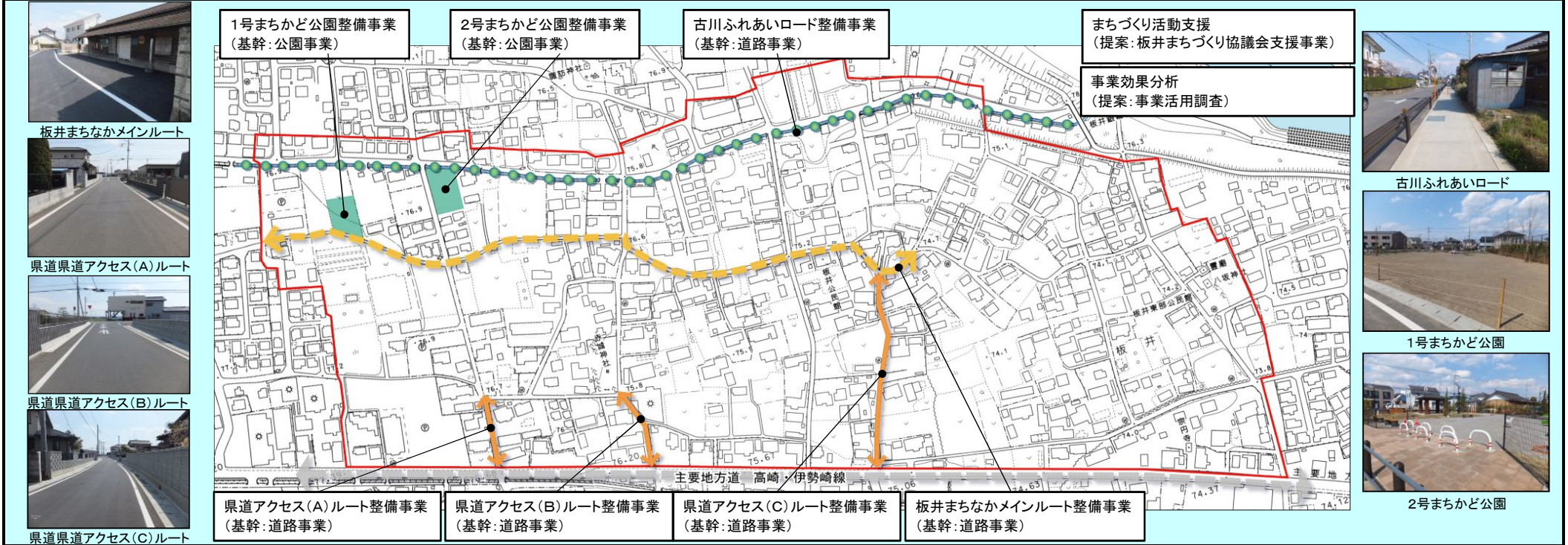
様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	群馬県	市町村名	玉村町	地区名	板井地区			面積	24.3ha			
交付期間	平成19年度～平成23年度	事後評価実施時期	平成24年度	交付対象事業費	460	国費率	0.391					
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	事業名 板井まちなかメインルート整備事業、古川ふれあいロード整備事業、県道アクセス(A)ルート整備事業、県道アクセス(B)ルート整備事業、県道アクセス(C)ルート整備事業、1号まちかど公園整備事業、2号まちかど公園整備事業									
		提案事業	板井まちづくり協議会支援事業									
	当初計画から削除した事業	基幹事業	道路(県道アクセス(D)ルート整備事業) 公園(3号まちかど公園整備事業、4号まちかど公園整備事業、板井まちかどポケットパーク整備事業)	削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響					
		提案事業	—	—			指標1～3にそれぞれ関連するが、数値目標は据え置く					
	新たに追加した事業	基幹事業	—	—			—					
		提案事業	事業効果分析	まちづくり交付金による都市再生整備計画事業の効果を判断・分析するために追加			—					
交付期間の変更	当初変更	平成19年度～平成23年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響			—						
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値	目標値		数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期	
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度					
	指標1	基盤施設整備に対する不満足度	%	70	H17	35	H23	40	△	あり なし ●	日常の買い物の利便性向上に対する効果発現はみられなかったが、道路と公園に対する住民の不満足度が約半減したことは評価できる。	—
	指標2	地区内居住世帯の増加	戸	255	H17	280	H23	309	○	あり なし	整備により、安心で安全な生活環境づくりが図られた。また、住民同士の交流の機会が増えた。	—
指標3	まちづくり活動への参加意識	%	35	H17	60	H23	23	×	あり なし ●	住民参加によるまちづくりを行ったが、従前値も下回る結果であった。要因として、従前は土地区画整理事業の検討が行われるなか、住民のまちづくりへの関心が高かったと考えられる。	—	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値	目標値		数値		目標	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ 予定時期	
		単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1					
	その他の数値指標1	道路に対する不満足度	%	71	H17		38			道路整備により、住民の不満足度の解消が図られ、指標の改善に貢献した。	—	
	その他の数値指標2	公園に対する不満足度	%	61	H17		22			公園整備により、住民の不満足度の解消が図られ、指標の改善に貢献した。	—	
	その他の数値指標3	公園管理への参加意識	人	12	H17		30			公園整備により、住民の地域への愛着が促され、公園管理への参加意識が向上した。	—	
その他の数値指標4	板井地区住民のまちづくり活動への参加意識	%	31	H17		67			道路と公園の整備による効果により、まちづくり活動への参加意識が向上した。	—		
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園管理を行っている住民を対象とした聞き取り調査の結果から、整備により公園を新たに設置したことで、整備前より住民同士の交流の機会が増え、まちの魅力が高まったという意見が寄せられている。</li> <li>自治区関係者より当事業の進行に伴い、地区内の各種イベント(夏祭り、根石公園管理、水路・通学路清掃ほか)の参加人員は大幅に増加しているという意見が寄せられている。</li> </ul>											
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等				
	モニタリング	住民アンケート調査の実施		都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ● 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった ●				1号まちかど公園は町単費で、完成を目指す。				
	住民参加プロセス	①住民アンケート調査の実施 ②まちづくり活動(公園整備に関する住民ワークショップ)の支援		都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ● 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった ●				①1号まちかど公園は町単費で、完成を目指す。 ②今後もまちづくり活動に対する支援を行い、行政と住民が協働する場をつくることに努める。				
	持続的なまちづくり体制の構築	まちづくり組織の活動継続への支援		都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ● 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった ●				今後も区長を中心に、まちづくり組織の活動継続への支援を進めるとともに、各活動や組織間の連携を図る。				

## 様式2-2 地区の概要

### 板井地区(群馬県玉村町) まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値	
大目標 「くらしに安全／地域にふれあい」 多世代が語り合うまちづくり 目標① 「人と車」の東西動線軸を確立し、安心で安全な生活(くらし)環境をつくる。 目標② 緑や花のある公園と散策路を整備し、まちかど交流(ふれあい)が盛んなまちをつくる。 目標③ 多世代が協働するまちづくりを促進し、「住みつけたい」「住んでみたい」と思わせる「まちの魅力」を高める。	基盤施設整備に対する不満足度	単位: %	70 H17	35 H23	40 H24
	地区内居住世帯の増加	単位: 戸	255 H17	280 H23	309 H24
	まちづくり活動への参加意識	単位: %	35 H17	60 H23	23 H24
	道路に対する不満足度	単位: %	71 H17		38 H24
	公園に対する不満足度	単位: %	61 H17		22 H24
	公園管理への参加意識	単位: 人	12 H17		30 H24
	板井地区住民のまちづくり活動への参加意識	単位: %	31 H17		67 H24



まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>道路整備により、道路の幅員を拡幅したことで、「人と車・車と車」のすれ違いにくさの解消が図られ、イメージハンプを設置したことで、視覚的な速度抑制が図られた。それらによって、「車のメインルート」が確保された。</li> <li>車道から分離した安全な歩行空間を整備したことによって、「人のメインルート」が確保された。</li> <li>道路整備により、道路の幅員を拡幅したことで、「主要地方道 高崎・伊勢崎線」へのアクセスルートの安全なすれ違いと視距の改善が図られた。</li> <li>公園整備により、新しく公園を設置したことで、住民の地域への愛着が促され、住民同士の交流の機会が増えた。</li> <li>一方で、整備後に板井全域の全世帯を対象に行ったアンケート調査の結果によると、幅員が狭く利用するのが危険な未整備道路や「主要地方道 高崎・伊勢崎線」へのアクセスルートの未整備道路がある。イベントやプログラムなど交流を深めるための機会が少ないという意見があるため、改善策を考える必要がある。また、道路事業の実施により改善が図られた一方、通行車両の速度が向上しており、安全性の確保が求められる。</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備された道路と公園の維持・管理について、道路、公園における住民等との協働による環境美化活動や緑化活動、住民主体による公園の維持管理の支援を行う。</li> <li>住民の安全性や利便性を向上させるための改善策については、未整備箇所を含めた、道路整備事業の検討、速度抑制のための路面加工や歩道区分帯、街路灯などの交通安全施設の整備、地域特性や利用者ニーズに応じた生活交通対策の検討、古川ふれあいロードを対象とした、道路整備事業の継続、まちかど公園の使用頻度やニーズの変化に対応した見直しを通じて、住民との協働によるまちづくりを推進し、良好な生活環境の形成に努める。</li> <li>住民同士の交流を深めるための機会づくりについては、住民参加型のイベントやプログラムの充実(公園を利用した、住民参加による防災訓練の計画的な実施や、新設した公園と根石公園を利用した、住民参加による祭り等のイベントの開催)、地域コミュニティ活動への支援(住民参加による公園の維持・管理活動への支援や、道路、公園における住民等による環境美化活動や緑化活動に対する支援)を通じて、住民同士のコミュニティ形成の促進を図る。</li> </ul>